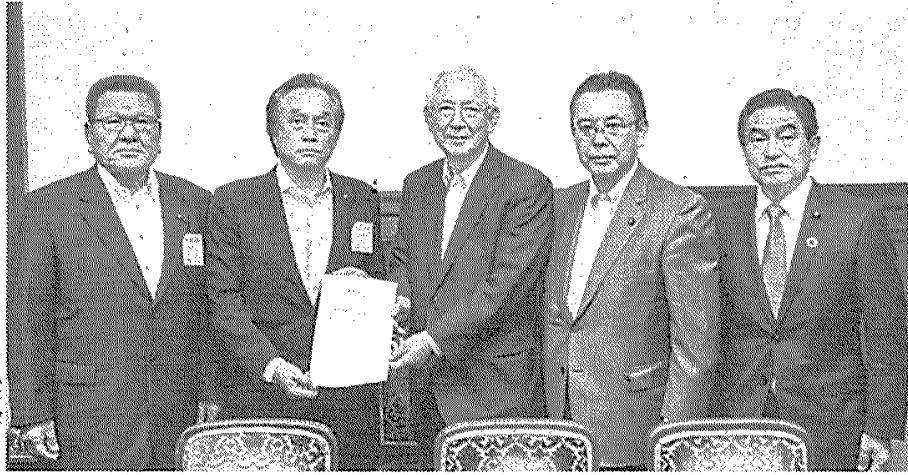


復興拠点外の方針早く

党加速化本部に 福島・双葉町が要望



伊沢町長（左から2人目）から要望を受ける
井上本部長（中央）ら＝14日 国会内

公明党東日本大震災復興
加速化本部の井上義久本部
長（党副代表）は14日、国

会内で福島県双葉町の伊沢
史朗町長と佐々木清一議長
に会い、東京電力福島第1

原発事故からの復興に向け
た重点要望を受けた。

伊沢町長らは、避難指示
が出された市町村で唯一、
解除が進んでいない現状
を指摘。来年春にJR常磐
線・双葉駅周辺の先行解
除、2022年春に帰還開
始をめざしているとして、
「復興財源と国の支援体制
の長期的な確保を」と求め
た。

帰還困難区域に整備する
特定復興再生拠点区域（復
興拠点）の状況にも触れ、
拠点外の解除に向けた方針
を早期に示すよう訴えた。

井上本部長は「今夏に政
府へ提出する第8次提言に
盛り込みたい」と語った。